

「自分はがんにならない」そう思っていませんか？ ～がんを見逃しているかもしれません～

がん検診は受けましたか？
6月からがん検診を実施しています。
毎年1度は受けていただきたいがん検診ですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診を控えてしまう方が多く、がんの発見が遅れるという懸念が広がっています。

がんの早期発見、
早期治療で
9割が治ります。



早期では、ほとんど
自覚症状はありません。
だから、検診が必要です！

がんが進行している
可能性あり

がんを早期に発見

検診を何年も
していない

毎年検診実施

がん検診受診

【がん検診】

とき／6月～12月

申込／集団検診：胃がん検診（バリウム）は**予約が必要**です。大腸がん検診と肺がん・結核検診は**予約不要**です。

個別検診：医療機関によって、受診できる検診の種類が異なります。

※詳細は青い封筒で郵送した検診ガイドをご覧ください。



1月までに 歯周病検診を受けましょう



8月から、歯周病検診を受けられるクリニックが増えました。また、引き続き市内・伊豆市・函南町の歯科医院でも受診できます。詳しくは、令和4年度検診ガイドまたは市HPをご覧ください。

歯科医院名 ＜伊豆の国市＞	電話番号	休診日
にとう歯科クリニック (奈古谷 1370-3)	055-928-6480	木・日・祝日

妊娠と治療のために 妊孕性温存治療費助成事業のご案内

がん治療など、生殖機能の低下または失うおそれがある治療を選択する場合、治療前に精子や卵子等を凍結保存する、妊孕性温存治療があります。市では、県とともにこの温存治療にかかった費用を助成しています。

●対象者

- ① 申請日時時点で伊豆の国市民の人
- ② がん治療、造血幹細胞移植、アルキル化剤投与疾患などの治療により、生殖機能が低下または失うおそれがあると、医師に診断された人
- ③ 指定医療機関で妊孕性温存治療を受け、凍結保存時の年齢が43歳未満の人
- ④ 妊孕性温存治療開始日に、特定不妊治療費助成を受けていない人
- ⑤ 過去に、伊豆の国市や他の地方公共団体から妊孕性温存治療支援事業に係る補助を2回以上受けていない人

●対象となる温存治療と助成金額

- ① 精子の凍結保存：上限25,000円
 - ② 精巣内精子採取術による精子凍結保存：上限35万円
 - ③ 胚（受精卵）、未受精卵子、卵巣組織凍結保存：上限40万円（県制度併用の場合は変更）
- ※①②はがん治療等の担当医または温存治療の担当医が紹介した医療機関、③は県の指定する医療機関で受けた治療が対象です。助成は生涯で1人2回限りです。

●申請方法

妊孕性温存治療後に、健康づくり課窓口で手続きをしてください。書類の審査後、助成金が支給されます。

●申請期限

妊孕性温存治療終了日が属する年度の末日まで（平日のみ）

●申請書類

医療機関からの証明書など。詳しくは、健康づくり課へ問い合わせ、または市HPでご確認ください。



▲市HP

【その他の治療費助成事業】

●がん患者の医療用補整具購入費助成事業
(医療用ウィッグ・人口乳房等)



▲医療用補整具購入費助成事業

●小児・若年がん患者のための在宅療養生活支援事業
(福祉用具・居宅サービス等)



▲在宅医療生活支援事業

出張健康よろず相談 in ウェルシア薬局伊豆長岡店

今回の出張よろず相談では、血圧の測定や熱中症予防について健康相談を行います。また、骨強度測定計で骨の強さも測ることが出来ます。ぜひこの機会にウェルシアフェお立ち寄りください。

とき／8月15日(月) 14時～15時30分
ところ／ウェルシア薬局伊豆長岡店
ウエルカフェコーナー

内容／血圧測定、熱中症予防について、健康相談、骨強度測定
料金／無料
申込／不要

※新型コロナウイルス感染症予防のためマスクの着用をお願いします。また、出張よろず相談を予告なく中止する場合があります。

